

平成28年度第1回北海道子どもの未来づくり審議会 議事概要

日 時 平成28年7月22日（金）18:00～20:00

場 所 かでる2・7 920会議室

出席委員 松本委員、内藤委員、巽委員、久葉委員、稲葉委員、梅田委員、中谷委員、富田委員、池部委員、川島委員

事務局 佐藤子ども未来推進局長、永沼子ども子育て支援課長、上田自立支援担当課長
ほか

議 事

[会長選出]

松本委員を会長に選出。

[報告事項]

(1) 北海道保育士実態調査結果について（報告）

委員意見等

委員名	意見等
川島委員	保育士の賃金の関係の調査結果には、処遇改善加算の影響は反映されていないのではないか。また、年収が100万円以下は、結婚されている方の影響も大きい。現実には、今回の調査結果ほど、収入は低くない。 こういった数字が一人歩きすると、保育士になろうとする人がいなくなるという悪循環となる。慎重に対応してほしい。
巽委員	正規職員が少ない、結婚や出産してからの離職も多い。結婚したら続けられないといった状況があると思うので、処遇の改善が大事だと思う。
松本会長	大変重要な調査だと思う。経年で見ていくことが重要なので、今後も継続して調査を行ってほしい。

[審議事項]

(1) 「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」の推進状況について

委員意見等

委員名	意見等
松本会長	婚活を道の少子化対策の重点とするのは、いろいろな議論があると思う。妊娠・出産を始まりに若者の自立をしっかりとって、その先の家族形成という整理の仕方はあると思う。
川島委員	0～2歳の保育に、子育て経験のある方を支援員として、多く採用できる環境づくりをしてほしい。保育士不足の解消に繋がると思う。
中谷委員	平成31年度の目標も記載した方が、今後どれくらいの目標で、今がどれくらいというのがイメージしやすい。
久葉委員	未婚化、晩婚化の原因はどのようなものなのか。婚活の事業の効果はどのようなことがあったのか。
内藤委員	両立支援推進企業表彰については、もっとPRしていただきたい

	い。父親の育児参加は重要。父親の育児休業の取得促進も取り組んでいていただきたい。未婚化、晩婚化の問題では、夜は遅い、休日もないといった状況で結婚や出産は考えられないという声を聞く、長時間労働の問題も影響があると思う。
--	--

(2) 「北海道子どもの貧困対策推進計画」の推進状況について

委員意見等

委員名	意見等
松本会長	計画に相談支援を位置付けていることは大切。この場所をどのように進めていくのかお聞きしたい。相談から支援に連携して繋げていくことが大切なことと思う。
池部委員	貧困という問題だけではなくて、周りにある要因も含めて考えていく必要がある。
川島委員	特別支援教育ということで数字を把握しているが、アレルギーや糖尿病で医療行為の必要な子どもも多い。そのような子どもの把握もお願いしたい。
巽委員	貧困の連鎖に対する対策はどのようにしているのか。貸し付け金は返還が必要。もう少しきちんとした支援ができるようにしていただきたい。
内藤委員	就学援助制度の充実をお願いしたい。就学援助制度の周知が全市町村で行われていないことに驚き。100%の実施をめざしていただきたい。
久葉委員	学校における教育支援として確かな学力の育成といったことを位置付けているが、貧困対策ということで位置付けたということをどのように押さえればよいのか。

(3) その他

①平成28年度「子ども部会」の運営について

委員からの意見等はなし

②ほっかいどう未来輝く子育て大賞について

委員からの意見等はなし